

平成27年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立鶴山小学校

教育目標（めざす児童生徒像）

考える子 学習・生活集団力を高め、学び合う心豊かな子どもの育成
助け合う子 やりぬく子

今年度の指導の重点

1. 確かな学力の育成を図る。
基礎的な学力の向上に努める。
表現力を高め、学び合う力の育成に努める。
2. 人権感覚豊かな人間関係づくりを推進する。
集団生活のルールを身につけ、安心感のある学校生活を推進する。
いじめ等の不合理に築き、違いを認め合い、ともに解決しようとする子どもを育てる。
3. 特別支援教育の充実を図る。
居場所としての学級・交流学級をつくる。
4. 連携を深める。

調査結果について（調査結果において明らかになったこと）

【学力状況調査の結果】

全国（小学校）

国語A、算数Aについては、県平均と比べると正答率が高い。
国語Bについては、県平均と比べると正答率はかなり高い。
算数Bについては、県平均と比べると正答率が高い。
理科については、県平均と比べると正答率はかなり高い。
活用に関する問題の正答率も高い。

算数Bについては、後半の問題における無回答率が高い。
国語Bや算数Bにおいて、短時間で問題を読み取り、まとめて書く力をつける必要がある。
問題を解くスピードをつける必要がある。

【学習状況調査の結果】

全国（小学校）

「学校の授業時間以外に、普段どれくらいの時間勉強するか。」「今住んでいる地域の行事に参加しているか。」「理科の授業で学習したことが将来、社会に出たときに役に立つか。」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦しているか。」の設問に対して肯定的に回答した割合が全国平均よりきわめて高い。
「授業後の振り返りをしたり、やめあてやまとめをノートに書いたりする。」と回答した児童が多い。
「算数や理科は好きで、将来役に立つ。」と答えた児童が多い。

「算数B・国語Bの回答時間が不十分だった。」と回答した児童が大変多い。
「普段1日当たり何時間ゲームをしますか。」の質問で、多くしている児童が全国平均より大変多い。
「将来の夢や目標を持っている。」と答えた割合が低い。
「国語の勉強は好きか。」「国語の勉強は大切か。」「読書が好きか。」の質問に対して、肯定的な回答した割合が低い。

成果と課題

成果 1. 算数科を校内研究の中心に置き、2年間杉能道明先生を外部講師に招き研究を深めた。①2年生以上に少人数指導を行い個に合わせた指導を徹底した。授業の流れを「岡山型学習スタンダード」に沿って進めることを指導者が共通理解して取り組んだ。視覚支援のために、算数的活動がペアーでできる教材を製作したり、プレゼン教材やノートなどをICT機器を使って見せ、理解の共有化をはかったりした。授業では説明力や発表力をつけることを重視した。朝学習で基本的な問題を練習させた。自主学習の手引きを作成し、積極的に自主学習に取り組ませた。理解が不十分な児童には、休み時間等に補充学習を行った。
2. 国語科では、文章の読み取りを重要視して指導を行った。ペアー学習も積極的に取り入れた。
3. 理科では、どの児童にも平等に実験をさせた。また、児童が興味を持てる実験も多く取り入れ、ノートに考えを書く時間を多くした。
4. 家庭での生活時間のアンケートを学期に1回行い、児童の生活時間の意識化をはかった。特に高学年は中学校とテスト期間に合わせて、テレビやゲームの時間を1時間以内にしよう呼びかける週間を設けた
5. 学力テストの分析や対策について、保護者に対して説明会を行った。
課題 1. 短い時間に文章を読み取り、まとめる力をつけることが大切。
2. 問題を解くスピードが遅く、後半の問題を解く時間が無くなった児童がいた。
3. テレビやゲーム時間が多く、家庭学習の時間が不足する児童がいる。

課題に対応した改善方法

時間を設定して、問題を解いたり、自分の考えや振り返り(感想)を書いたりするようにする。
話し合い活動を授業の中に取り入れて主体的に学べる授業づくりをする。
算数科における少人数指導を充実させ、視覚支援の教材やICT機器を有効に使う。
学力テストの過去問題を授業やパワーアップの時間で解き、解説を行う。
各単元ごとにテストの結果、定着が不十分な問題については再度授業で復習し、到達度確認テスト等で補充する。
将来の夢や仕事について考える授業を行う。
自主学習に取り組ませ、参考になるノートは廊下などに掲示する。
生活時間についてのアンケートをし、計画的に学習時間を生み出すことができるよう働きかける。
6年生に対してゲームやインターネットの危険性についての学習会を行う。

取組の検証方法及び検証時期

校内研修で学力テストの分析と対策や改善方法の見直しをする。(9月)
児童生徒へのアンケートの実施(年3回)
県学力状況調査4年生(国語A・算数A)5年生(国語A算数A・国語B・算数B・理科)の実施(11月下旬)
上記の結果を受けて、改善方法の見直しを図る。(1月)

平成28年度津山市達成目標に対する具体的な目標（数値目標等）

6年生に実施する国語・算数・理科の全国学力テストにおいて、平均正答率で県平均以上にする。
1日のゲームの時間を少なくして、家庭での学習時間を増やし、自主学習の時間や質の向上を目指す。
「各教科が好き」「授業がわかる」と回答する児童生徒の割合を県平均以上にする。